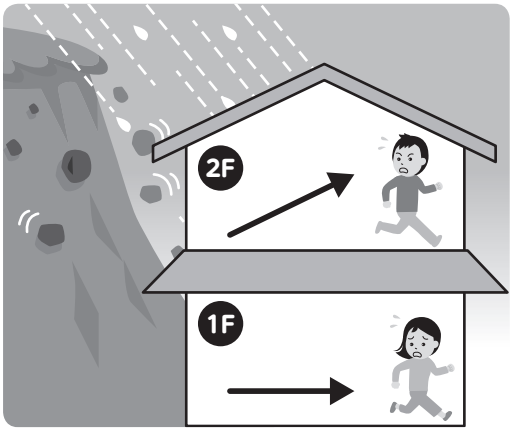
対応策

土砂災害

日頃からの備え

- 雨が降り続いたときや地震が発生したときは、斜面に近づかないようにしましょう。
- 自宅付近に土砂災害が発生するおそれのある場所がないか確認しておきましょう。
- 土砂災害が発生するおそれのある場合は、気象庁から「土砂災害警戒情報」が発表されます。しかし、土砂災害の危険を感じたときはすぐに自主避難をしましょう。
- 屋外へ出るのが危険な場合は、崖や沢から離れたなるべく高い部屋に避難しましょう。



風水害・土砂災害での警戒レベル

令和元年５月末より、気象庁やテレビなどの報道機関が発表する気象情報には、警戒レベルの表記が追加されました。

危険度：高い → 低い

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
レベル５	すでに災害が発生している状況です。命を守るための行動をとりましょう。	災害発生情報（自治体発表）
レベル４	速やかに避難先へ避難しましょう。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) （自治体発表）
レベル３	高齢の方や障がいのある方などは避難を開始しましょう。その他の方は避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（自治体発表）
レベル２	ハザードマップなどで、避難時の行動を確認しましょう。	洪水注意報・大雨注意報など（気象庁発表）
レベル１	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁発表）

※警戒レベル３以上に対応する避難情報は、気象庁が発表する警戒レベルや市内の状況などをもとに市が発表します。実際の避難情報や避難所情報などは、市が発表する情報をご確認ください